

平成 30 年 1 月 16 日

各 位

サクサホールディングス株式会社
サクサ株式会社
株式会社システム・ケイ

映像圧縮システム・VMS・IoT 技術を活用した映像事業の取組み強化 ～映像圧縮ゲートウェイ「VC1000」発売開始～

サクサグループは、映像事業として、ネットワークカメラや NVR（ネットワークビデオレコーダ）など監視カメラシステムを中心に映像ソリューションを提供しております。

また、中期経営計画で、映像圧縮システムや画像認識、解析等の技術を活かした付加価値の高いアプリケーションサービスを提供することで映像事業拡大を掲げております。

サクサグループの事業中核会社であるサクサ株式会社（代表取締役社長 磯野文久）は、映像事業分野での新規創生を目指しており、第一弾として、圧縮した高画質映像をリアルタイムに配信できる映像圧縮ゲートウェイを開発、製品化し、「VC1000」として平成 30 年 3 月 1 日から発売いたします。

また、昨年 10 月、サクサグループの株式会社システム・ケイ（代表取締役社長 鳴海鼓大）は、主に既存市場向けに映像処理の集中を軽減する独自の分散処理を実装し、拡張性と耐障害性の高い VMS_(注 1)（映像管理システム）「SKVMS」の提供を開始いたしました。

サクサグループは、今後も幅広く様々な映像ソリューションを提供し続けてまいります。

近年、ネットワークの高速・大容量化やクラウドを用いたデータストレージの大容量化が進展したことで、ビッグデータや AI を活用した人物の行動分析や機械の故障予測など、IoT をキーワードとした解析ソリューションの市場拡大が様々な分野で期待されております。特に映像ソリューションの市場は、従来の防犯用途において映像を単に録画するだけでなく、遠隔による人物や設備などの状況・状態把握から、映像解析による業務の見える化・効率化およびマーケティング支援など、多岐に渡る業務ソリューションの需要が高まっております。

しかしながら、伝送・蓄積する映像データの大容量化に伴い、ストレージ容量の増大やシステムへの負荷増加のため維持管理・追加投資が必要となり、運用コストが増加する問題が起きております。

その問題を解決する手段のひとつとして、映像圧縮技術の活用がありますが、これまでの映像圧縮技術では、映像圧縮処理により遅延が発生するため、リアルタイムに高解像度の映像を解析するような業務に展開するには大きな課題となっております。

今回販売する「VC1000」は、独自の圧縮処理技術により最大 8 台のネットワークカメラの映像（H.264_(注 2)）を符号化形式、解像度（フル HD、HD、VGA）、フレームレート（5～30FPS）を変更することなく、人が見て画質の劣化のない高品質な映像を遅延なく、リアルタイムで最大約 10 分の 1 に圧縮することができます。

これにより、高解像度の映像を必要としている場合や低速なネットワーク環境下のため解像度を落とさなければならない場合などに、カメラやネットワーク等に新たな追加投資することなく、また圧縮した映像はそのまま H.264 で閲覧可能であり、既存の仕様のみで高い付加価値を実現できます。



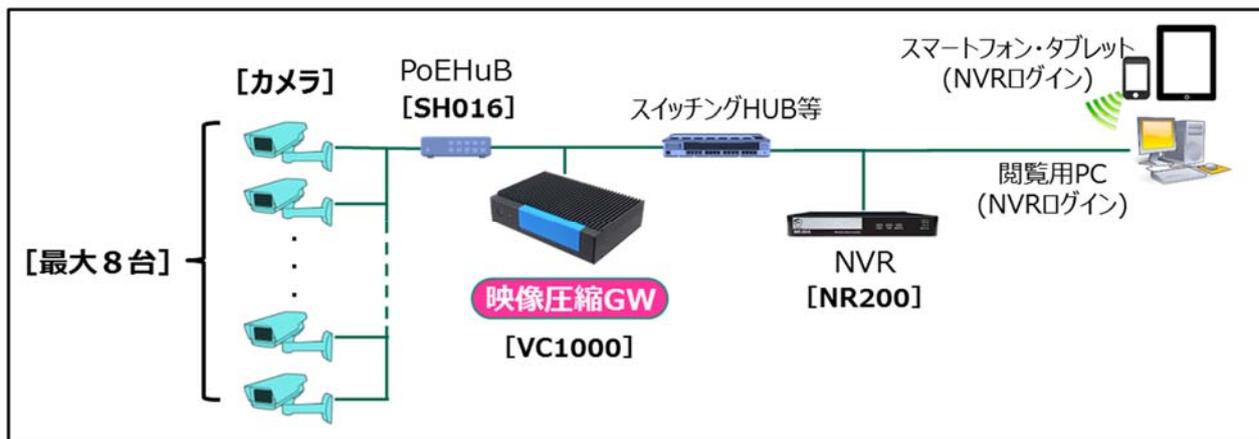
[圧縮 GW 「VC1000」外観]

利用シーンとして複数拠点を監視する事業所・オフィス、長期映像保管やリアルタイムな解析を必要とする工場（フードディフェンス、品質管理等）、およびレガシーネットワークを使用している交通機関、その他マーケティング支援需要のある各種店舗等に対し、簡単に構築できる映像圧縮システムとして提供してまいります。

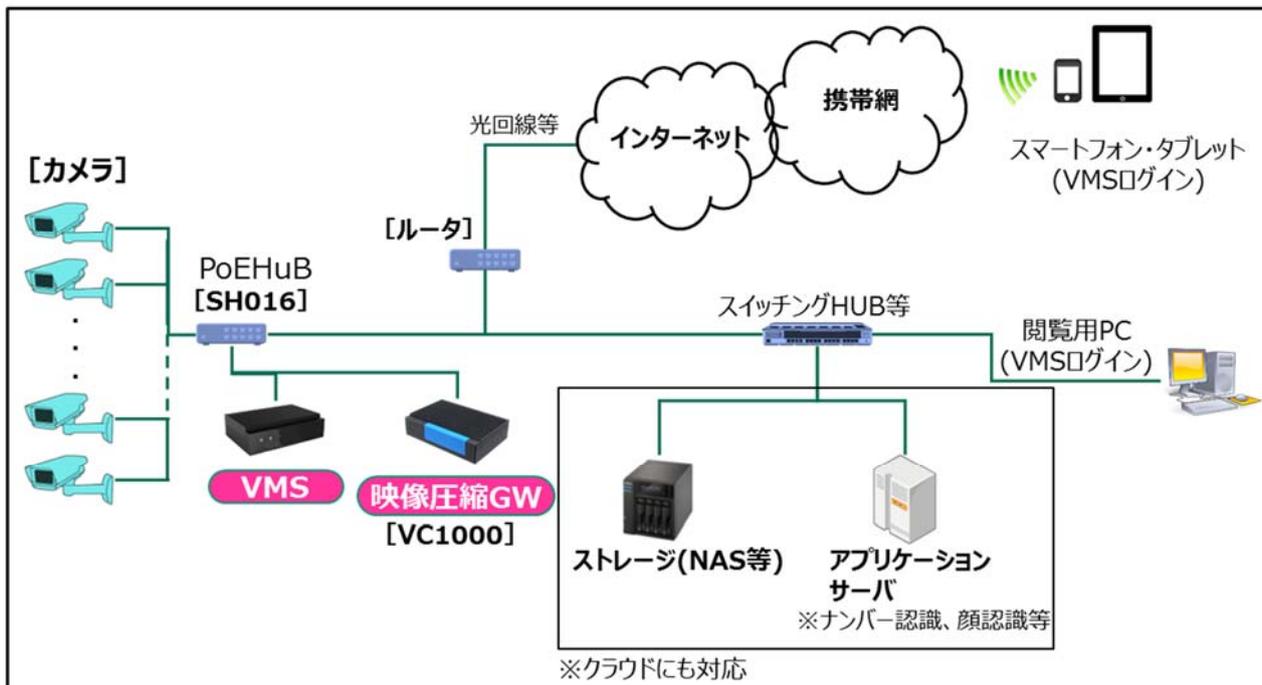
今後、映像事業拡大に向けた取組みを継続強化するために、サクサグループは、VMSを映像システムのプラットフォームとして提供し、映像圧縮および顔認識や車両ナンバー認識等のアプリケーション連携により映像解析による業務用映像ソリューション展開を行います。さらには、映像・IoTソリューションとして、ネットワークカメラ映像の解析結果から「IoT ゲートウェイ」と連動させ表示やアラームなどによる状態の可視化や、各種センサ情報を「IoT ゲートウェイ」で受信し、VMSにより映像情報と関連付けし記録するなど、映像センシングとIoTを組み合わせ、様々な業務向けに付加価値の高いサービスを提供してまいります。

■システム構成例

VC1000 のシステム構成例



VMS のシステム構成例



【スマート工場 EXPO2018 の出展について】

今回の「映像ソリューション」および「IoTソリューション」の内容について、1月17日から19日まで東京ビッグサイトで開催される「スマート工場 EXPO2018」（西ホール2階 小間番号：W16-60）に出展し、その一例をご紹介します。

■主な仕様

圧縮チャンネル数	フル HD	: 4 チャンネル	ネットワーク カメラ	Axis Communications 社 ・ネットワークカメラ全般 システム・ケイ社 ・SK カメラ(SK B10/SKD10/SKDV10) NSS 社 ・ネットワークカメラ全般	
	HD/VGA	: 8 チャンネル			
対応解像度	16:9	最大			: 1920x1080
		最小			: 640x360
	4:3	最大	: 1600x1200		
		最大	: 640x480		
配信方式	RTSP ^(注3)		対応 NVR	サクサ社 : NR200 シリーズ システム・ケイ社 : NVR200 シリーズ	
電源	24W 12V AC アダプタ				
サイズ(W x D x H)	179 x 121 x 45 (mm)				

■販売計画

標準価格 ネットワークカメラ 8 台構成 1,314,400 円 (税抜) ~

VC1000:1 台、ネットワークカメラ:8 台、PoEHuB^(注4):1 台、NVR:1 台

発売開始 平成 30 年 3 月 1 日 (木)

提供開始 平成 30 年 4 月 2 日 (月)

販売目標 平成 31 年度末までに 30 億円 (VMS、IoT ソリューション含む)

■用語解説

(注 1) VMS

VMSとは Video Management Software/System の略称で、専用のソフトウェアをサーバなどにインストールし、監視カメラの映像の録画や再生などを管理する拡張性の高いシステム

(注 2) H.264

ITU-T で企画化された映像符号化方式であり、DVD などで使用されている MPEG-2 の 2 倍以上の圧縮率があるといわれており、次世代光ディスク「HD-DVD、Blu-Ray Disc」などに採用され広く普及

(注 3) RTSP

RTSPとは Real Time Streaming Protocol (リアルタイム・ストリーミング・プロトコル) の略称で、IETF で標準化されたプロトコル。リアルタイム性のあるデータの配布 (ストリーミング) を制御するために使用

(注 4) PoEHuB

イーサネットで使用される LAN ケーブルを利用して、接続する PoE 対応機器 (ネットワークカメラ、無線アクセスポイント等) に電力を供給できる技術

<販売に関するお問い合わせ>

サクサ株式会社 新規事業推進部

担当：西尾 (にしお)、斎藤 (さいとう) TEL : 03-5791-5521

<報道機関からのお問い合わせ>

サクサホールディングス株式会社 総務人事部

担当：末田 (すえた)、福田 (ふくだ) TEL : 03-5791-5511